

親睦囲碁大会～参戦記！



てるや整形外科 照屋 勉



平成 25 年 2 月 11 日 (月)「建国記念日」、南風原町新川の「んかっか (fig.1)」にて「平成 24 年度沖縄県医師会親睦囲碁大会」が開催されました。前年度までは A リーグ (4 段以上)・B リーグ (3 段以下) に分けて対局しておりま

したが、今年度から『スイス方式』に準じて対戦表 (table.1) のようにタイミングが合えば高段者との対局も楽しめる大会となりました。「早打ち派 vs 長考派」・「シツコイ粘り腰派 vs 早々諦め派」・「死んだふり派 vs 取らぬ狸の皮算用派」・「只管寡黙派 vs ブツブツ独り言派」 etc…。個性的な総勢 22 名による対戦が執り行われました。AM10:00 から PM6:00 まで続けられた激戦の結果…。「優勝 (勝率 1 位)」は、ゲストの“沖縄電力：渡嘉敷亮さん (8 段) (fig.2: 写真左)”…。6 戦全勝のぶっちぎりの完全優勝でした。因みに、渡嘉敷さんは、県代表レベルの打ち手で「平成 24 年度沖縄県の“アマ本因坊”」です。本大会において全勝優勝の常連で「九州医学会総会：2 年連続“本因坊”」のサマリア人病院：砂川恵徹先生が、今回、体調不良のためご参加頂けなかったことが、兎にも角にも残念でなりませんでした。アマチュア 8 段レベルの対局は次回以降に持ち越しということになりましたが、来年度の“本因坊対決”が本当



fig.1

//////////////////////////////////// 趣味のグループ //////////////////////////////////////

平成24年度沖縄県医師会親睦囲碁大会対戦表

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
氏名	砂川	渡嘉敷	岩橋	知念	岸本	橋井	村田	糸数(敬)	大城	大城	渡口	仲宗根	糸数(健)	上原	仲本	アンドリョー	大山	照山	永山	鏡波	安村	金城	喜久村	
段級	8段	8段	6段	5段	5段	5段	4段	4段	4段	4段	4段	3段	3段	3段	2段	2段	2段	2段	2段	2段	2段	初段	1級	
1回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10回戦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
成績	0勝0敗	6勝0敗	2勝3敗	3勝2敗	6勝2敗	5勝1敗	5勝3敗	3勝2敗	5勝7敗	5勝4敗	4勝3敗	4勝2敗	4勝6敗	3勝4敗	4勝5敗	4勝4敗	0勝3敗	0勝2敗	4勝2敗	4勝4敗	4勝5敗	1勝3敗	0勝4敗	

に楽しみです。次に、「準優勝（勝数1位）」は、「岸本外科医院（那覇市医師会）：岸本幸治先生（5段）（fig.3）」…。寡黙・堅実・慎重派の岸本先生は、若干不本意な取りこぼしもあったようですが、6勝3敗という同数最多勝の見事な準優勝でした。本当におめでとうございます。「3位（最多試合賞）」は、「でいご会（結成20年を超える女流囲碁愛好会！）：大城登喜さん（4段）（fig.4）」…。5勝5敗。8時間で10局という長丁場…。想定内・狙い通りとはいえ、かなり“脳じーじー”されたことと思います。本当にお疲れ様でした。すべての対局終了後、PM6：00から懇親会（反省会）（fig.5）が和やかな雰囲気の中とり行われました。美味しい料理を頂きながら、「対局後の感想」・「今後の抱負」などを語って頂きました。小生的には、沖縄県アマ本因坊：渡嘉敷亮さん（8段）との一局がとて印象的で勉強になりました。あまり経験することのない“6子局の対戦！”…。序盤は、6目という“勢力”をバックにしていつもより強気に打ち込んでいきましたが、“大石”は死なずにすんだものの、気が付けば荒らされ寄せられ、最終的に終局を待たずに“投了”…という結果になりました。“アマ本因坊”から「最初は、強気で良かったはずですが…！」というコメントを頂き、うちあたししながら「今年から“本腰”をいれて囲碁を勉強しよう！（今までは“本気”ではなかった?）」と思ひ込まれたとてもモチベーションの上がる一局でした。



fig.2

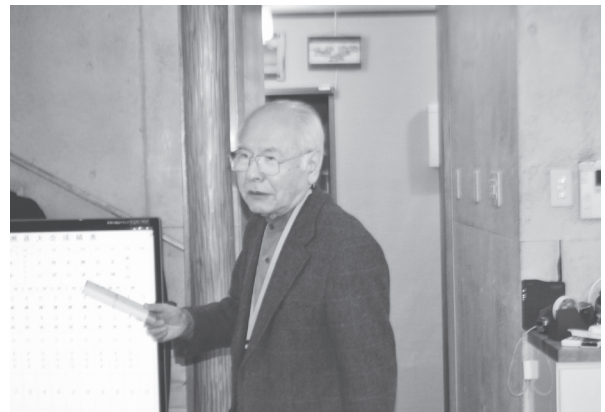


fig.3



fig.4



fig.5

//////////////////////////////////// 趣味のグループ //////////////////////////////////////

さてさて、沖縄県医師会主催：「親睦囲碁大会」は来年もこの時期に開催する予定です。是非、「知人・友人・囲碁敵」お誘いの上、奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

【P.S.】名誉棋聖「藤沢秀行記念館」の話…！
 〈名誉棋聖：藤沢秀行氏 (fig.6) のプロフィール〉：1925年横浜生まれ。戦後を代表する棋士として活躍！。棋聖戦は6連覇。膨大な借金、アルコールとの闘い、胃癌・リンパ癌・前立腺癌との闘い…。史上最高齢（67歳）のタイトル保持記録は今も破られていないそうです。また、「後進の指導」にもご尽力され、海外でも多数の棋士を育てられました。特に、中国への囲碁普及の功績は大きく、中国の棋士からは“恩人”と崇められている！…とのことです。また、“書”の方も銀座松坂屋画廊などで個展を開催するほどのレベルで、その作品はかなり高く評価されています。2009年5月8日、誤嚥性肺炎で逝去。享年83歳。“絶筆”は病院のベッドで書いた「**強烈な努力**」…。戒名は、「何一つわからなかった男！」という意味で、生前、本人が考えてあった「**愚明居士**」…。小生的には、「タバコさえ止められていれば…！」という気持ちで、本当に残念でなりません。

〈「蒼カフェ」～「藤沢秀行記念館」 (fig.7)〉：南城市知念久手堅に2013年1月20日オープン。県道331号線を玉城方面から直進し、知念郵便局を左折…。“斎場御獄”方向へ数百メートル北上、右側2階建てのお洒落な白い建物（駐車場も大丈夫です！）…。藤沢秀行作品：「**磊磊** (fig.8) ～途方もなく大きいこと！志を遮るものなく、思いのままに大きく生きるべし！」・「**一期一会** (fig.9) ～この一手は、二度とない！一度だけの一手！人との出会いも、一度だけの出会い！」…という超大型・直筆の“書”は必見です。美味しい“コーヒー”・お洒落な“サンドウィッチ”でリラックスし、目の前に広がる雄大な太平洋に感動した後、秀行先生のエネルギーギッシュな“書”をご堪能頂けるものと確信しております。是非、一度足をお運びください！。



fig.6



fig.7



fig.8



fig.9